

保健

センター
通信

市健康管理課(保健センター)
☎873-2111

シリーマ 受けよう 健診! その1

～どうして健診を受けるの?～

特定健診・特定保健指導の義務化

医療制度改革により、昨年4月から老人保健法が廃止され健診制度が大きく変わりました。40～74歳の方は、ご加入の保険者が実施する「特定健診(メタボリックシンドローム健診)」を受診することが義務付けられました。今回の健診では、内臓脂肪型肥満のリスクを早期に発見するため、腹囲測定が新たに加わりました。健診後には、一人ひとりのリスクに応じて、将来脳卒中や心臓病などになることを防ぐため、生活習慣を見直す支援「特定保健指導」を受けることが特徴とされています。増え続ける国民医療費を抑制し、国民皆保険制度の持続と健康寿命を延ばすために、より効果的な生活習慣病予防を目的に行われるものです。

牛久市の一人当たりの年間医療費は下記のグラフからも分かるように、茨城県の平均を大きく上回っています。医療費の約3割は生活習慣病。生活習慣病は、特定健診を受けて「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)」のリスクを早期発見し、保健指導を受けながら改善をしていくことで、予防できるのです。

実績に応じたペナルティー

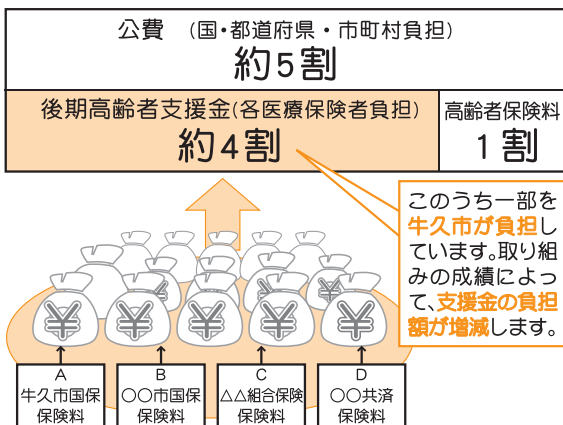
特定健診や特定保健指導を受けなかったからといって、個人に罰則があるわけではありませんが、実施主体の医療保険者には国からペナルティーが課せられます。

平成25年から後期高齢者医療制度の各医療保険者が負担する支援金(下記図参照)において、

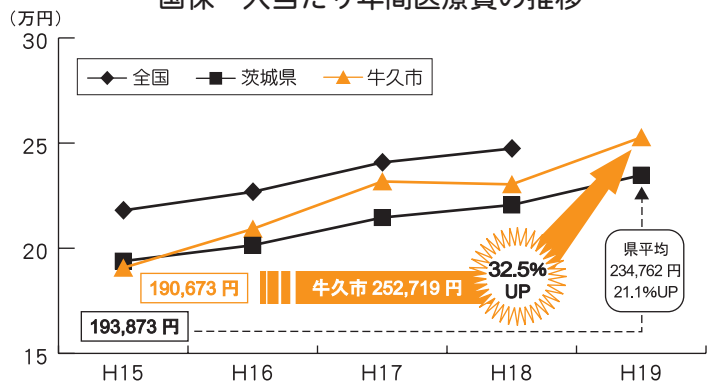
- ①牛久市の特定健診実施率(国保の健診対象者のうちのくらいが健診を受けたか)：65%
- ②牛久市の特定保健指導の実施率(指導の対象になった人のうちのくらいが指導を受けたか)：45%
- ③牛久市のメタボリックシンドローム該当者や予備軍の人数の減少率(平成20年度と平成24年度を比較して減ったか)：10%

以上3つの基準について、成績が良かった場合は、支援金が最大10%減額され、反対に成績が悪いと10%増額されてしまいます。支援金の負担が増えるということは、牛久市にとって非常に厳しい財政状況となり国保保険料の値上げも招きかねません。

後期高齢者医療制度の負担のしくみ



国保一人当たり年間医療費の推移



国保中央会による統計より抜粋

※平成19年度全国の医療費は平成21年2月現在未公表です。

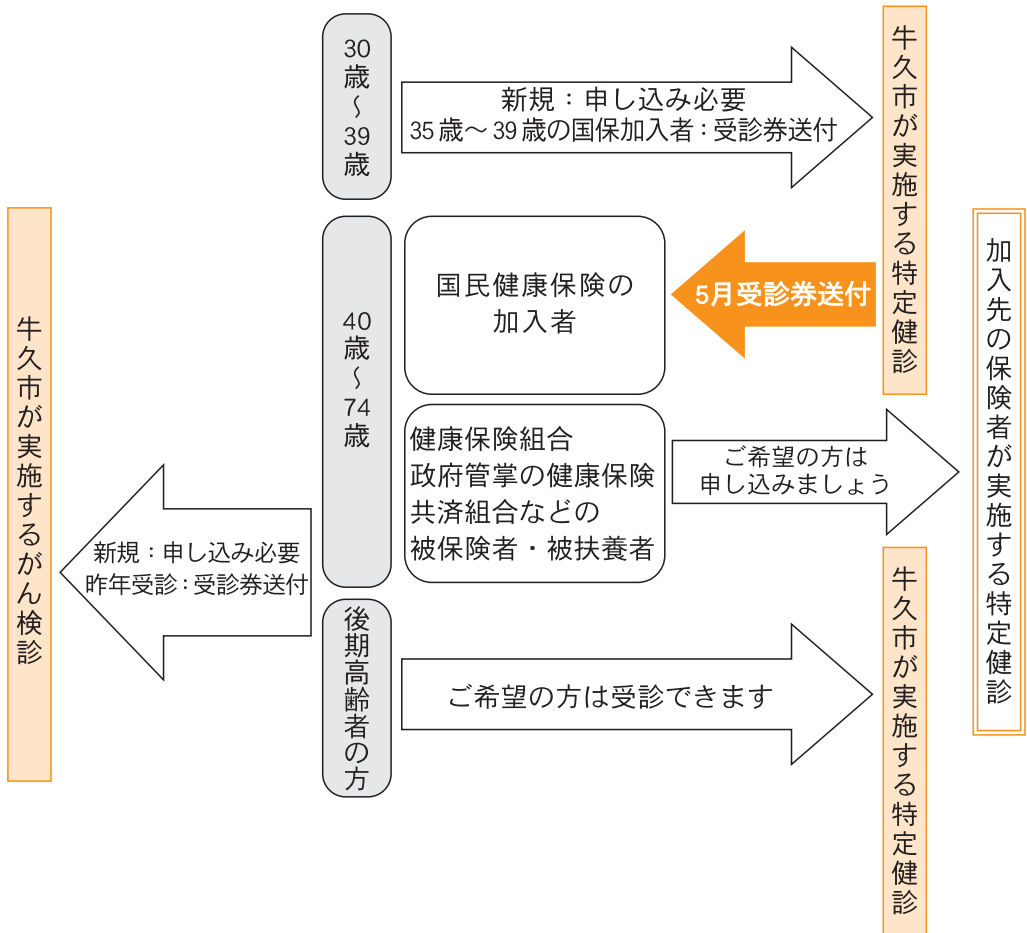
特定健診・特定保健指導を受け
るのは、個人の健康管理や家族の
幸せのためです。そして、医療費や
保険料の家庭の支出、さらに市や
国の支出を抑えることにもつなが
ります。国民健康保険ご加入の皆
さんには、年1回特定健診を受診
していただき、該当になった場合に
は、必ず特定保健指導をお受けい
ただくようご協力をお願いします。

平成21年度の健診体制と申し込 みについて

特定健診以外の検診について
は、平成21年度の「すこやか」でお
知らせしたとおりですので、ご希
望の方は、それぞれの検診ごと
にお申し込みください。特定健診と
がん検診の対象などについては、
下記の図をご参照ください。

【被扶養者の方】

特定健診については、ご加入の
保険組合に申請し、「特定健診受診
券(票)」を取り寄せていただく必
要があります。各保険組合の健診
体制によっては、市保健センタ
ーでがん検診と同日に受診可能で
す。昨年度、制度の改変で受診で
きなかった方は、早めに保険組合
へご確認ください。



新規申し込みは、6月1日から始まります。ご希望の方は、市
健康管理課(市保健センター)までお電話ください。
873・2111(午前8時30分〜午後5時15分※平日のみ。)

平成21年度版「すこやか」の おわびと訂正について

ページ	内容
2-3	「健康診断」の項目について
2-4	「がん検診」の項目について
5	「特定健診」の項目について
6-7	「がん検診」の項目について
8-9	「がん検診」の項目について
10	「がん検診」の項目について
11	「がん検診」の項目について
12	「がん検診」の項目について
13	「がん検診」の項目について
14-19	「がん検診」の項目について
20	「がん検診」の項目について
21	「がん検診」の項目について
22	「がん検診」の項目について
23-24	「がん検診」の項目について
25-26	「がん検診」の項目について
27	「がん検診」の項目について
28-29	「がん検診」の項目について
30-31	「がん検診」の項目について
32-33	「がん検診」の項目について
34	「がん検診」の項目について
35	「がん検診」の項目について
36-37	「がん検診」の項目について
38-41	「がん検診」の項目について

- ① 19ページの乳がん検診協力医療機関について まつばらウイメンズクリニクは都合により実施できなくなりました。
- ② 34ページの「こどもの救急対応病院」文中にある「東京医科大学霞ヶ浦病院」は、4月1日から「東京医科大学茨城医療センター」に名称が変更となりました。
- ③ 42ページの医療機関一覧について、「どい歯科」は「どい歯科医院」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

問い合わせ
市健康管理課(市保健センター)
873・2111